

銀河羊紙を下

七夕といふる條

月令廣義小牽牛織女一年一會昏宵今所故曰  
夕まこと。万葉集

月累々念殊余會夜者今之七夕積巨勢  
奴鴨

とよめ。七日夕の畧なまこ。あめつの中づとよめ。なま  
ことよめ。ハ辞をなぐ。又まきつら。ハ棚機とよめ  
を棚機といふ。その棚機か。よめ。そのよめ。斜

永田文庫